

トラック・バス常用ブレーキ実車試験方法

Truck and bus - Service brake road test procedure

1. **適用範囲** この規格は、トラック・バスの正常に作動する常用ブレーキの履歴の実車試験方法について規定する。
2. **引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版を適用する。

JASO C 428 駐車ブレーキ試験方法

JASO C 466 自動車のブレーキ停止距離測定方法

JIS D 0210 自動車ブレーキ試験方法通則

3. **定義** この規格で用いる主な用語の定義は、JIS D 0210 の 2. (用語の定義)の規定による。ほか、次のとおりとする。
- a) **制動前ブレーキ温度** 制動開始前、15 秒以内の時点で読みとったブレーキ温度、規定のある場合の制動前ブレーキ温度は、各輪の制動前ブレーキ温度の車軸ごとの平均値のうち、最も高い軸の値。
- b) **ライン圧力** ホイールシリンダ又はブレーキチャンバの近傍で測定した液圧又は空気圧。

4. 試験条件

- 4.1 **車両区分** 試験用車両は乗用定員及び車両総質量により区分する。

なお、区分名称は次のとおりとし、参考として () 内にトラック及びバスの制動装置の技術基準での名称を示す。

| | | |
|----|--------------|---------------------------|
| 区分 | M2 (第1種バス) | 乗車定員が10人以上で、車両総質量が5t以下のバス |
| 区分 | M3 (第2種バス) | 乗車定員が10人以上で、車両総質量5tを超えるバス |
| 区分 | N1 (第1種トラック) | 車両総質量が3.5t以下のトラック |
| 区分 | N2 (第2種トラック) | 車両総質量が3.5tを超え12t以下のトラック |
| 区分 | N3 (第3種トラック) | 車両総質量が12tを超えるトラック |

- 4.2 **車両の状態** 試験時の車両の状態は、JIS D 0210 の 4.1(車両の状態)の規定による。
- 4.3 **ブレーキ装置各部の状態** 試験時のブレーキ装置各部の状態は、JIS D 0210 の 4.3(ブレーキ装置各部の状態)の規定による。
- 4.4 **路面及び気象の状態** 路面及び気象の状態は、JIS D 0210 の 4.2(路面及び気象の状態)の規定による。
- 4.5 **温度の測定方法** ブレーキ温度の測定は、JIS D 0210 の 6. (温度測定方法)の規定による。
- 4.6 **停止距離測定方法** 停止距離測定方法は、JASO C 466 の規定による。

5. 試験方法

5.1 制動操作

- a) 制動操作は、700Nを超えないペダル踏力で、規定された初速から終速まで行う。
- b) 制動減速度一定の制動操作において、ペダル踏力が700Nに達しても、指定された減速度を達成できない場合、ペダル踏力700Nで制動操作を行う。
- c) 制動操作は3.7m幅のレーンの中央で開始し、このレーンから車両の部分がでることのないように車両姿勢を維持又は制御しながら行う。ただしN1の車両の場合はレーン幅を3.5m幅に、車両全幅が2.5mを超える車両の場合は、車